

全線を花の道に

茨曾根地区市道戸頭清水線

茨曾根の市道戸頭清水線約四キロメートルの区間に、コスモス一千本とマツバギク五千本が植えられ、マツバギクの鮮やかなピンク色が道行く人の目を惹かせています。



マツバギク

茨曾根地区公民館では、昨年度から生涯学習の一環として「花いっぱい運動」に取り組んでおり、同区間に花を植えるのは今年で二回目のことです。今年「長い期間花が楽しめるものを」とマツバギクを中心に植えていくことに決定。東萱場区長会長の山田利夫さん・キシさん夫妻がコスモスとマツバギクの苗六千本を四月上旬から育ててきました。これを地区のゲートボールを楽しむお年寄りが中心になって五月下旬から植え付けを開始。六月までに全線に植え付けを完了しました。植え終わってからは「自分で植えた苗が心配」と地区の人たちが草取り、水やりなど管理に協力。花いっぱい運動も盛り上がりを見せています。苗を育てた山田さんは「マツバギクを育てるのは初めて。植え付けるまで寒さに弱くて苦労した。一面に花が咲いてくれる」と期待を膨らませます。秋にはコスモスの花も咲き、色とりどりの花が全線にわたって楽しめることでしょう。

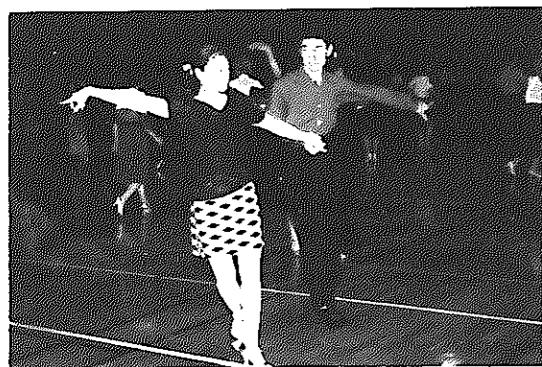
カヌーに乗って自然をウォッチング

三川合流点の公園化を考える会

「身近な自然を川から考えてみよう」と六月十一日、信濃川

園化を考える会（高橋裕雄会長）が主催したもの。同会では、自然破壊が進んでいる大通川周辺の自然環境を復元しようと構想中で、観察会や勉強会を行っています。今回のカヌーウォッチングは、五月に行われた観察会に引き続いて二回目。このウォッチングに、市内外から約二十人が参加しました。

一行は、新潟市酒屋町の小阿賀の川を出発。中ノ口川、信濃川合流点の信濃川大橋付近までを約二時間かけてゆつくりと下っていききました。「カヌーは初めて」という参加者も、信濃川を下るころには、すっかり上手に。途中、鳥の鳴き声に耳を澄ませたり、咲いている花を眺めたりとゆつたり自然を観察し



初夏の夜、ダンスを楽しむ

初夏の夜、ダンスを楽しむ

阪神大震災チャリティーダンスパーティー

五月二十一日、カルチャーセンターで白根社交ダンスサークル連盟（湯川成之会長）主催の、阪神大震災チャリティーダンスパーティーが行われました。パーティーには市内外から約三百人が参加。初夏の夜、サンバルンなどのダンスを楽しみました。同連盟が組織されたのは一年のこと。市内の五つのダンス

お父さん、お母さんががんばってるね

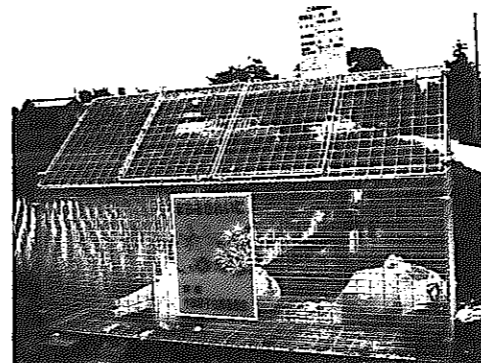
白根小学校PTA



六月十一日の日曜日、白根小学校PTA主催の親子クリーン作戦が展開されました。天候にも恵まれたこの日、手始めはいつも通る通学路のごみ拾い。通い慣れた小学校への道順を教える子供たちは得意満面の様子です。グラウンドに集合した後、各学年ごとに指定された場所へ移動し、清掃開始です。お父さん、お母さんの力を合わせた排水溝の泥上げ作業の姿が小さな手のお手伝いさんたちの目に頼もしく映っていました。

小林幸子さんも環境美化に一役

小林幸子白根後援会



両親が白根市出身という市ゆかりの歌手小林幸子さんが白根市の環境美化に一役。といって本人直接ではなく、小林幸子白根後援会が解散を記念して市環境衛生協会へ寄贈したごみかごによってです。取り付けられたごみかごには、早速ごみ袋が入れられ、幸子さん同様にも永く地元住民に愛されそうです。また同型のごみかごは、安藤鋼機から阪神大震災被災地などへも寄贈されました。

イベント盛り上げます

出店友の会

市内の若者が集まって「出店友の会」（長谷川貞治会長）がこのほど発足。さまざまなイベントに出店し、大好評です。同会ができたのは今年三月。平成五年の「青年の祭典」で焼きそばの店を出店したことがきっかけでした。そのときに、売り上げがあまり伸びなかったことから、再度挑戦してみようと同祭典実行委員会のOBらが中心となって会を発足。現在、二十七人の会員で構成されています。同会のメインメニューは、「でんぶ焼き」。これは昔の味を懐かしむお年寄りから子供



長があいさつ。「人生八十年の時代、社交ダンスというスポーツを通じ、体を鍛えて長生きしていただきたい」と連盟の活動を激励しました。プロのダンサーによるデモンストレーションの後、パーティーの始まり。照明を落とし、ぎみにした会場で参加者は、それぞれパートナーと華麗なステップ。ワルツ、タンゴ、サンバなどを楽しみました。市外から来たある男性は「広くてとてもいい会場。気分良く踊れました」と満足そうに話していました。

県外客も目立ったさつき祭り

白根市花き園芸組合 さつき祭り

白根市花き園芸組合主催のさつき祭りが、今年も五月二十一日から六月六日まで開かれました。会場となったJA白根市本所駐車場には、県外ナンバーの車も並び、さつき産地白根のイメージが県内外に定着したようです。青森から軽トラックとワゴン車で来たという夫婦は「青森でも白根の名前を聞くよ。昨日今日で二十鉢買ったかな」と笑っていました。このほかにも秋田からマイクロバスで駆けつけた団体もあるなど、全国各地に根強いさつきファンが存在しているようです。



華やかにアレンジ

大通地区公民館 フラワーアレンジメント教室

五月三十日、大通地域生活センターでフラワーアレンジメント教室が開かれました。これは、大通地区公民館が主催したもの。市内の花屋さんを講師に、七月十一日までの隔週火曜日に開催されます。初日のこの日は、バラやデンファレなどを使い、ラウンド形と呼ばれるアレンジの基本形に挑戦しました。ラウンド形はオアシスと呼ばれる水を含んだスポンジに花を刺していき、どこから見ても丸い形にしていこうというもの。参加者たちは、立ち上がり自分の作品を眺めたりしながらアレンジ。完成した花を前に「どこに飾ろうかしら」と楽しげに話していました。

